

酒類・食品 & News 解説

週刊

令和7年3月28日(金曜日) 第3439号
(昭和42年7月10日第3種郵便物認可)
毎週金曜日 発行 編集発行人 石母田 健
購読料 6ヵ月 15,730円(税込)
振替番号 東京4-71739
発行所 株式会社日刊経済通信社
本社/東京都中央区日本橋小伝馬町10番11号 日本橋府川ビル9階
☎03(5847)6611(代) FAX 03(5847)6600
名古屋支局☎052(253)6924 大阪支局☎06(6353)1791
http://www.nikkankeizai.co.jp/



本紙調

2月のアイス商況1%減

寒波で定番品が苦戦、新商品が健闘

2月のアイスクリーム市場は、1%程度前年同月を下回った(本紙調)。
寒波が相次いで襲来。全国15カ所の観測値による平均気温偏差は、速報値で-0.46℃。過去2番目の高さだった昨年との+1.83℃よりも大幅に低く、2月としては3年ぶりに基準値を下回った。アイスクリームの商況は、前年実績をわずかに下回ったが、昨年のベース(10%増)が高く、閏年だった昨年比べ稼働日が1日少なかったことを踏まえると、極めて好調に推移。定番品が苦戦する一方で、新商品が売り場を活性化させた。24年度累計は5%増。2月の各社概況は次の通り。

ロッテは5%減で市販用が6%減、業務用が1%増。「クーリッシュ」が7%増で、バニラが24%減、ベルギーチョコが14%減、コーヒールが6%減、CVS限定のピスタチオ×ミルクは好調に推移。飲む贅沢練乳は昨年の反動で苦戦した。「爽」が13%減で、バニラが23%減、練乳いちごが18%減、生チョココニバニラが2%減。「モナ王」が42%増で、バニラが34%増、宇治抹茶が28%増、マルチが9%減。「雪見だいふく」が3%減で、バニラが6%増、ココアのシヨコラが51%増、PREMIUMが19%減、ミニ雪見が7%増。「レディーボーデン」が7%減で、パイントが7%減、ミニカップが12%減、マルチが4%増。「ガーナ」が9%減。「バニラバー」が19%減。「ハーシー」が7%増。「ドル」が14%増。「カルピス」が2%増。江崎グリコは前年超え。「アイスの実」「バナッパ」「SUNAO」が前年を下回ったものの「パピコ」「ジャイアントコーン」「牧場しほり」が前年を上回り、「セブントーンアイス」も好調。マルチは42

主な内容

2月のアイス商況 12面
マルサン豆乳の日1周年 13面
1月のみそ出荷量 9面
ボラン春夏新商品発売 3面

ピル「じゃがりこ」30周年 15面
タイ食品輸出商談会 7面
トーホーG総合展示会 10面
トーホー1月期決算 11面
ウイタセ社食で地魚の 14面
S.D.G.S.に貢献 14面
原料商品情報 89面

0円層+OP、550円層が前年をクリアしたものの、610円層が前年を下回り、マルチ全体も微減となった。
森永乳業は1%増。「パルム」が11%減で、アイテム減が影響。マルチチョコは12%増と好調。「MOW」が20%増で、バニラが7%増、PREMIUMが112%増、フレイバーも20%増。「ピノ」は7%減。「チェリオ」が3%減。発売となった「ビエネッタ」はファンを駆け込みで4.4倍。その他マルチは34%増。

明治は10%強の前年超え。主力の「エッセル」ブランドが大人ラベルの上乗せと3月3日発売の「さなご」の吸い込みで3割近い伸長、レギュラーも2ケタ近い伸び。マルチは前年超え。大人ラベル2品について同社では、「とことんシヨコラ」は想定並みで推移。SNSでも話題になりやすく、発売2週目、3週目になっても安定した動き。はなやか紅茶は寒波の影響もあって想定を下回る形で推移も市場全体が苦戦した中ではまずまずのポジションを獲得している。このほか、休業の影響があった「パフェ」シリーズ、「角10棒」「うずまきソフト」「辻利」シリーズは苦戦した。「ブルガリアフロズンヨーグルト」は3割強の伸長。「Dear Milk」は昨年実施した販促の反動でマイ

(2面に続く)



よろこびがつなく世界へ
KIRIN

おいしいとこだけ
搾ってます。

一番搾り

ストップ! 20歳未満飲酒・飲酒運転。お酒は楽しく適量で。妊娠中・授乳期の飲酒はやめましょう。のんだあとはリサイクル。

キリンビール株式会社